

職場体験 感想文コンクール2024

タイトル	大事なこと	事務局	ハフ
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	中鉢 ^{さば} 咲菜

今年の夏、「新中ハローワーク」という新たな活動が始まりました。私たちは、新中ハローワークを行うために、求人票を見て、自分が行きたいと思った事業所を選び、エントリーシートにその事業所を選んだ理由や自分の長所、その職業に自分が合っている理由を書き、面接を受けます。その後、採用か不採用かの結果を知り、採用だった場合は事業所に電話をして、行く日時や持ち物を打ち合わせして、ここまでしてようやく合格した事業所に行けるようになるのです。

今回の新中ハローワークの面接では、不採用だった人がいなかったと聞いたので、とてもよかったと思いました。なぜなら私の学年のみんなは、採用にたどり着くために、たくさんの時間を費やし準備と努力をしてきたからです。

私は「新庄市社会福祉協議会」に採用され、8月2日の8:30から17:15まで、新庄市社会福祉協議会で新中ハローワークをさせていただくことになりました。私が体験させていただいた仕事は、放課後児童クラブの先生の補助と介護予防体操の手伝いでした。私は、どれも簡単にできそうだと思っていて、今回会える人たちとすぐに仲良くなれるのではないかと、新庄小の放課後児童クラブまで移動している間に心の中でそう思っていました。でも、いざ人と会って話してみようとすると、とても緊張してしまい、うまく話すことができず、いつもの自分を出すこともできませんでした。結局、相手側から「一緒に遊ぼうよ」や「名前なんて言うの?」と聞かれてしまい、私から話かけることができたことは、片手で数えることができるくらいしかありませんでした。初対面だし、会ったこともない人に声をかけられるのは「誰?」みたいな感じになるのが心配だったからです。

いざ仕事を体験してみたら、自分が想像していたよりも大変なことばかりだと感じました。大変なこと、その1つ目は、「人をまとめること」です。放課後児童クラブにいた子供たちはとても元気で、体力が有り余っているように感じられました。そのため、たくさん動き回って遊んでいたり、楽しそうにおしゃべりをしていたりしました。だから、先生がみんなを静かにさせたり整列させたりするには時間が多くかかります。まとめられたときに大きな達成感もあると思いますが、それ以上に先生方の疲労感がものすごくあるようでした。でも、そんなに大変で疲れると思われる仕事でも、新庄小では20年、日新小では15から16年もその仕事をしているそうです。疲れる以上に、楽しかったりうれしかったりすることがたくさんあるから、この仕事を続けているのではないかと思います。実際に、「この仕事をやっていてよかった、うれしかったと思う出来事がありますか?」とお聞きしたら、新庄小の先生は「子供の成長を見ることができたときに喜びなどを感じます。」と答えてくれました。日新小の先生は「子供の笑顔を見ることができたときにうれしさを感じます」と答えてくれました。この話を聞いて、将来保育士になりたいという思いがどんどん強まっていき、大変なこともあるだろうけど、とっても楽しそうだなと思いました。

大変なこと、その2つ目は、「わかりやすいように説明したり、聞こえやすい声量でお話をしたりすること」です。介護予防体操、元気ハツラツ運動でする動きは、見てわかる動きもありますが、どうやってやるのかわからない動きもありました。だから、そんな時に必要になってくるのが、わかりやすい説明です。どういう動きかわからなくて困っている時には、「こうやってやるんだよ」などの説明や補助が必要です。また、どの放課後児童クラブでも、みんなに伝わるような声量、小学生でも理解できるような言葉遣いなど、配慮すべきことがたくさんありました。

大変なこと、その3つ目は、「一人一人に目を向けて接すること」です。みんなそれぞれ自分だけの個性があって、みんな一人一人性格も全然違います。違うからといってあきらめてしまい、「この人、

全然わかってくれないな」や「この人、つまんない人だな」と不満にさせてしまうのは残念です。だから、一人一人とちゃんと目を見て笑顔でお話して、一人一人の性格を理解することで、今まで以上に打ち解けられて仲良くなれると私は思いました。

私は、この3つの大変なことから、将来、仕事をして社会の中で生きていくうえで大切にしなければいけないことに気が付きました。それは、「相手を思いやって行動すること」と「親身になって行動すること」です。

私は「思いやり」と「親身」は同じ意味で同じことなのではないのかと思いました。ですが、「思いやり」と「親身」は、調べてみたら似ているようで違う意味でした。「思いやり」は、他人の気持ちに配慮し、相手が何を望み求めているのかを注意深く考え接することであり、「親身」は、肉親のように真心をもって接することでした。やっぱり似ているようで違うと思ったけれど、どちらも社会の中で生きていくためにはとても必要になってくると思います。社会人になり、今の私になりたいと思っている職業とは全然違う職業に就いたとしても、「相手を思いやって行動すること」と「親身になって行動すること」を大切にしていきたいと思えます。